

厚生連だより



富山県厚生農業協同組合連合会



鏡視下手術の進歩

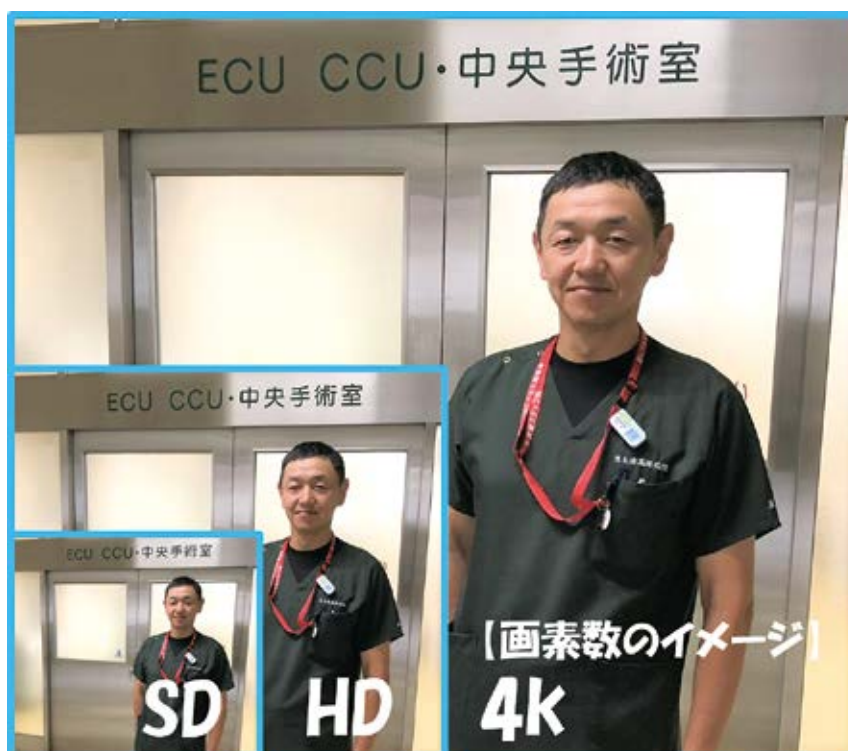
厚生連高岡病院

外科 診療部長 原 拓央

近年のテレビやビデオなど映像機器の画質には目をみはるものがありますが、医療の領域にも同じ波が押し寄せています。厚生連高岡病院外科では2016年の手術件数は917件でしたが、このうち508件が体へのダメージが少ない鏡視下手術（モニター画面を見ながら行う小さなキズの手術）でした。1992年に胆嚢摘出術、2003年に大腸癌、2005年には胃癌に対する腹腔鏡下手術に着手し、現在では急性虫垂炎や鼠径ヘルニアはもちろん、急性腹膜炎・腸閉塞や肝臓／膵臓／脾臓手術の一部、食道手術（食道裂孔ヘルニア、アカラシア、食道癌の一部）、骨盤内臓全摘術を含む多臓器合併切除など、より難易度の高い術式へ適応を広げつつあります。

これを可能にしているのが手術機器の進歩で、特に画像技術の向上によるところが大きいように思います。最初はSD画質（昔のアナログ程度）のモニターでした。当時はこんなものだと思っていましたが、今になって映像を見直すと昭和のテレビ番組の様な粗さです。その後HD画質（現行のデジタルハイビジョン）になり細部までよく見えるようになったと感激したのも束の間、昨年導入された4Kの鏡視下手術システムは圧巻でした。微細な構造を拡大視することで一層精細な手術ができるようになったと実感しています。

将来は3Dや8Kといったさらなる性能向上に加え、ロボット手術なども徐々に普及してゆくことでしょう。我々外科医の技術も遅れを取らぬようにせねばなりません。当科では消化器外科医の多くが目指す日本内視鏡外科学会の技術認定医（手術ビデオで審査される合格率30%前後の難関、2017年現在で全国に1700人余、富山県に12人）を各グループのチーフを含めて5人が取得しています。今後も先進的な技術導入を怠らずに研鑽を重ね、責務を果たしてゆけるように努めてまいります。



鏡視下手術の進歩 ～大腸がんにおける腹腔鏡下手術～

厚生連高岡病院

消化器外科 診療部長 小竹 優範

近年、大腸がんの罹患率・死亡率は増加傾向にあり、一般的には開腹手術が行われますが、日本でも四半世紀前より腹腔鏡下手術が導入され増加傾向にあります。腹腔鏡下手術は、おなかの中に二酸化炭素を入れて膨らませ、臍から高性能カメラ（腹腔鏡）を挿入し、おなかの中をモニターに映し出し、5mmの鉗子でリンパ節郭清や大腸切除・吻合を行う手術です。開腹手術では20cm前後の切開創が必要ですが、腹腔鏡下手術では3～5cm程度の切開創で済むため、患者さんにもたらす効果は、切開創の縮小化→手術直後の痛みの軽減→早期離床→排ガス・排便の早期化→早期の食事開始→早期退院・社会復帰となり、「低侵襲手術」と言われています。腹腔鏡下手術の利点は低侵襲性だけではなく、高性能ハイビジョンの腹腔鏡による拡大視効果にて、従来の開腹手術では見えにくかった部位や細かい血管・神経までよく見え、がんの根治性を保ちながら機能を温存する繊細で質の高い手術が可能となります。



当院では、昨年更なる安全性と根治性の向上を期待しICG（インドシアニングリーン）蛍光対応4K内視鏡システムが導入されました。ICGを腫瘍近くに注入しリンパの流れを確認することで、より確実なリンパ節郭清が行え、またICGを血管に投与し腸管吻合部の血流を確認することで、術後の合併症を減らせることが期待されます。数年前までは、肛門に近い直腸がんに対しては肛門を残せないとされた症例でも、現在では条件を満たせば肛門温存手術が可能となり、当院では腹腔鏡下での肛門温存手術に積極的に取り組んでいます。当院の大腸がん手術の98%以上に腹腔鏡下手術を行っています。

大腸がん治療や腹腔鏡下手術に関してのご相談をいつでもお待ちしております。



乳がん触診モデルを導入しました!!

厚生労働省の「がん検診のあり方に関する検討会」において「乳がん検診の項目はマンモグラフィを原則とし、視触診は死亡率減少効果が十分でなく推奨しない」とされました。また触診ができる医師の確保が困難なことから精度管理上の問題点も指摘されています。これに伴い全国的には乳がん検診における視触診を中止する自治体が増加しています。当センターにおきましても平成30年度4月より視触診を中止いたしました。

しかし患者自身の自己検診を含め視触診が乳がん発見の契機になることは少なくありません。実際、乳がんの60%以上は自己触診によって発見されているという報告もあります。当センターでもこれまで定期的に自己触診することをおすすめしていますが「素人が触ってもどのようなものが乳がんなのかわからない。」「乳がんを疑うしこりを触ったことがないので、どの程度で病院へ行ったらいいのかわからない。」などのご意見があり、自己触診を実践している方はあまり多くない印象があります。

今回触診を中止するにあたり、自己触診の重要性がさらに高まると考えられます。そこで当センターでは、少しでもその助けになればと平成30年度5月より「乳がん触診モデル」を導入いたしました。是非、当センターにて乳がん触診モデルを触っていただき、実際に「しこり」を体験して自己触診のコツをつかんでください。



高校生の1日看護見学

厚生連高岡病院・滑川病院では「高校生の1日看護見学」に参加、協力しています。厚生連高岡病院では、呉西地区の高校生が2日間で80名、厚生連滑川病院では、呉東地区の高校生が2日間で16名参加し、病棟での看護業務の見学や体験をしました。学生たちは病院施設で働いている看護師の生き生きとした表情をみて様々なことを感じていました。患者さんと真剣に向き合いながらも、明るく接している場面を見学し、学生たちは「看護師は患者さんの治療だけでなく、精神面や環境面でも悪い影響が出ないように配慮していて、すごいと思った。」などの感想を発表していました。

午後からはワールドカフェ方式でグループワークを行いました。「自分の理想の看護師」や「自分の考える看護」などのテーマについて、学生たちはカフェにいるような気軽な感じで自分たちの意見を話していました。看護師という職業に対して学生たちが身近に感じ、そして将来自分が就く職業の選択肢の一つとして、現実的にイメージできる良い機会であったと思います。今後は学習に励み、様々な体験を通して、他人のことを思いやり、人と人とのつながりを大切にできる大人になっていただきたいと思います。近い将来、彼、彼女たちが看護の世界で活躍できることを楽しみにしています。



社会に学ぶ「14歳の挑戦」

厚生連高岡病院・滑川病院では、社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業に参加、協力しています。近隣の中学校から、医療職種に興味をもった中学2年生が集まります。1週間の病院施設での活動を通して、規律意識や社会性を高める良い機会です。中学生自らが、自分の将来の生き方を考えることを目的としています。厚生連高岡病院では、7月9日より2校20名の中学生、また厚生連滑川病院では、1校6名の中学生を受け入れ、病院での仕事を体験しました。病棟では看護師とともに患者さんを検査やリハビリに護送する介助などを実際に行いました。他職種の、臨床検査部、画像診断部、リハビリテーション部、薬剤部での職業体験もしています。白衣の試着をして、憧れの看護師の気分で記念撮影しました。

また、地域支援委員会の企画で不自由体験や臓器提供に関する講義を受けました。臓器提供術を受けた子供たちの絵画、回復後スポーツに励んでいる写真を病院職員と掲示し、啓蒙活動にも参加してもらいました。これらの活動を通して相手のことを思いやること、命の尊さを学びました。

1週間と短い間ではありましたが、この貴重な体験を通して彼らが、将来相手を思いやれる優しい大人になることを期待しています。今後もこの事業に参加し、病院施設として地域の未来の人材育成にも貢献していきたいと考えています。



厚生連滑川病院 京都清水寺貫主揮毫の書作品が寄贈されました！

6月3日に富山県厚生農業協同組合連合会前理事長の荻野孝次氏より、京都清水寺の森清範貫主揮毫による漢字「孝」の書作品が厚生連滑川病院へ寄贈されました。

除幕式を行い、南里院長より「病院の宝として末永く残していきたい」と挨拶がありました。

式典終了後、病院中庭にある「孝徳泉」（京都清水寺ゆかりの伝説がある（＊注））の供養が森清範貫主により行われ、式典参加者並びに地域の方々が参列されました。

京都清水寺の森清範貫主は毎年必ず供養に参られます。



（＊注）「孝徳泉」伝聞

昔々、安土・桃山の時代の頃。

「美作」の国（現在の岡山県）より諸国巡礼の旅に出ていた、父・了安、子・安静の親子が滑川の宿にたどり着いた頃には、了安は病の床に伏し、安静に京都清水寺の「音羽の水」を懇願しました。

安静は京へ昼夜をかけて向かい、「音羽の水」を手にいれて戻ってきましたが、既に父は亡くなっていました。

安静は悲しみに暮れて、音羽の水を了安の墳墓に注ぐと忽ちのうちに泉が湧いて、後にこれを「孝徳泉」と言うようになりました。

現在、この「孝徳泉」は厚生連滑川病院の中庭にあり、病院は、改築等がありましたがこの「孝徳泉」を守り続けております。



厚生連滑川病院 最新鋭の超音波診断装置を導入!!

超音波診断装置と言えば、お母さんのお腹の中の赤ちゃんを検査する画像診断装置というイメージをお持ちの方も多いと思います。超音波診断装置は実は、産婦人科だけでなく消化器科や循環器科、整形外科など幅広い領域の検査で使用される画像診断装置で、放射線被曝がないことから簡便に繰り返し検査が出来る検査として病院内での役割は年々大きくなってきています。

当院放射線科では、患者さんにより良い医療を提供するため、最新型の超音波診断装置を導入しました。

◆より簡便に

超音波検査を受ける際は、ゼリーを検査部位に付け、プローブと呼ばれる機械を当てて検査を行います。もともと痛みのない簡便な検査でしたが、最新の超音波診断装置は今まで以上に簡便に、患者さんの負担が少なくきれいな画像を撮影することが出来ます。

当院では腹部領域（肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓）や表在領域（乳腺・甲状腺）などの超音波検査を行っています。

◆より多彩に

超音波検査は体の中に超音波を送信し、体内で跳ね返ってくる超音波によって患者さんの体の中を画像化します。超音波検査は臓器の形や大きさ、動きを映像化し、検査するのに加え、体の中を流れる血液の情報を検査することが出来ます。また、最新鋭の超音波診断装置では、描出しにくい部位でも、CT/MRIの画像と同期させることで、病変の位置を特定することが容易になっています。さらに、臓器の硬さを検査することも可能となりました。この検査により、今まで以上に患者さんのお役に立てると思っています。

最新型の超音波診断装置の検査を受けられたい方は、厚生連滑川病院放射線科にてお待ちしております。





厚生連高岡病院

高岡市永楽町5-10 TEL(0766)21-3930
http://www.kouseiren-ta.or.jp

厚生連高岡病院 外来診療受付時間

診療科	午 前	午 後
内 科	総合診療科・感染症内科 月・金 11時30分まで	予約制（再診のみ）火のみ
	糖尿病・内分泌内科 月～金 11時30分まで	予約制（再診のみ）月のみ
	腎・膠原病内科 月～金 11時30分まで	
科	呼吸器内科 月～金 11時30分まで	予約制（再診のみ）火のみ、予約制（禁煙外来）木のみ
	血液内科 月～金 11時30分まで	予約制（再診のみ）水、金のみ
	循環器内科 月～金 11時30分まで	予約制（再診のみ）水のみ
	腫瘍内科 月～金 11時30分まで	予約制
	緩和ケア外科 月・水・金 11時30分まで	
	消化器内科 月～金 11時30分まで	
	脳神経内科 月～金 11時30分まで	
	精神科 月～金 11時30分まで 予約制（再診のみ）	
小 児 科	月～金 11時30分まで	月 14時～16時 循環器外来（予約制）、こども心身外来（予約制） 火 12時30分～13時30分 健診受付、15時～16時 予防接種（予約制） 水 14時～16時 こども心身外来（予約制）、神経外来（第3週のみ 予約制）、アレルギー外来（第2・4週 予約制） 木 14時～16時 成育フォローアップ外来（予約制）、神経外来（第2・4週 予約制）、慢性疾患（予約制） 金 14時～16時 循環器外来（第2・4週 予約制）、アレルギー外来（予約制）、こども心身外来（予約制）
外科・消化器外科・乳腺外科	月～金 11時30分まで	
整形外科	月～金 11時30分まで	
形成外科	月～金 11時30分まで	
脳神経外科	月～金 11時30分まで	午後なし（午前の水は新患のみ）
皮膚科	月～金 11時30分まで	月、水、木 14時～16時 再診のみ
泌尿器科	月～金 11時30分まで	木 14時～16時（再診のみ 予約制）
産婦人科	月～金 11時30分まで	火 12時30分～13時 産後1ヵ月健診、月・金 14時～15時30分 助産師外来（予約のみ）
眼科	月～金 11時30分まで	水、金 14時～16時 予約制
耳鼻咽喉科	月～金 11時30分まで	火、木 14時～16時 予約制
放射線科	月～金 11時30分まで	予約制
放射線治療科	月、水～金 11時30分まで	予約制
麻酔科	月～金 11時30分まで	
呼吸器外科・心臓血管外科	月～金 11時30分まで	午後なし（午前の火、金は予約制）
歯科口腔外科	月～水、金 11時30分まで、木 11時まで	月、火、水、金 14時～16時 予約制
リハビリテーション科	月～金 11時30分まで	

* 午後の診療受付は、変更になる場合がありますので事前に各科へご確認ください。

厚生連滑川病院

滑川市常盤町119 TEL(076)475-1000
http://www.kouseiren-namerikawa.jp

厚生連滑川病院 外来診療受付時間

診療科	午 前	午 後
内 科	月～金 11時30分まで 月、木 禁煙外来	電話にて診療の可否を確認 第2水曜日のみ 16時～18時 予約診療 水 13時30分～16時 呼吸器外来（予約制）、13時30分～14時 呼吸器外来（新患）
精 神 科	月～金 11時30分まで	電話にて診療の可否を確認
小 児 科	月～金 11時30分まで	月、水、木 13時30分～16時 火 14時30分～16時 金 13時～14時30分 一般外来 月～金 予防接種（予約制） 火 13時～14時30分 1ヵ月健診（予約制）
外 科 胃 腸 科	月～金 11時30分まで	救急患者
整形外科	月～金 11時30分まで	救急患者 第1・3・5火曜日 14時～16時 リウマチ外来（予約制）
脳神経外科	月～金 11時30分まで	電話にて診療の可否を確認
皮膚科	月、火、木、金 11時30分まで	月 午後手術 火 13時30分～14時（検査・処置の予約患者のみ） 木、金 13時30分～15時
泌尿器科	月～金 11時30分まで	月、火、木 予約制 水、金 午後手術
産婦人科	月～金 11時30分まで	救急患者 骨盤ケア外来（予約制） 母乳外来（予約制） 月、水 2週間健診（予約制） 火 1ヵ月健診（予約制）
眼科	月～金 11時30分まで（手術日は制限することがあります）	月、木、金 予約検査のみ 火 午後手術 第2水曜日 13時30分～16時 緑内障外来（予約制） 毎月1回火曜日 13時30分～16時 角膜・感染症外来（予約制・不定期）
耳鼻咽喉科	午前診療なし	火、金 13時30分～16時30分 第1・3火曜日 補聴器相談外来 第3金曜日 CPAP（睡眠時無呼吸症候群）外来
放射線科	月～金 11時30分まで	13時～17時
リハビリテーション科	月～金 11時30分まで	

* 午後の診療受付は、変更になる場合がありますので事前に各科へご確認ください。



理念
患者さんと職員が信頼・安心・満足できる
病院を目指します



理念
安全で安心な医療を提供し、地域住民から
信頼されるアットホームな病院を目指します